プリオン病研究班データベースの構築と診断精度の向上

研究分担者： 国立保健医療科学院健康危機管理研究部　金谷泰宏

	項目名		型	桁数		
				1		
				1		
				1		
				1		
	髄液	施行有無	数字	1	1:施行 2:未施行	×	1,4,5
		施行の場合　検査施設				×	1,4,5
検査	脳脊髄液の採取の際のADL		数字	1	Grade 0～5	×	5
	話す能力		数字	1	1.可能2.不可能	×	5
	歩行	可否	数字	1	1.可能2.不可能 3.補助にて可能	×	5
		補助にて可能の場合　1.杖	数字	1	1.選択	×	5
		補助にて可能の場合　2.歩行器	数字	1	1.選択	×	5
		補助にて可能の場合　3.介助者	数字	1	1.選択	×	5
	脳病理	有無	数字	1	1.あり 2.なし	×	1,2,4
		ありの場合　生検／剖検	数字	1	1.生検 2.剖検	×	1,2
		標本の所在	文字	1	2.剖検の場合に入力	×	1,2
		標本番号	文字	1	2.剖検の場合に入力	×	
		病理	数字	1	1.選択	×	

特定疾患治療研究事業・特定疾患調査解析システムにおける自動診断対象項目

プリオン病研究班における追加調査項目

診断アルゴリズムへの追加

診断精度の向上

解　説

1. 特定疾患調査解析システムを基盤とした研究班データベースの構築。
2. 国際連携を視野に入れた登録項目の標準化。
3. 画像診断、検査技術の向上に合わせた診断アルゴリズムの見直し。